

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 養老公園維持管理費（指定管理者分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局 都市公園課 活用推進係

電話番号：058-272-1111(内4915)

E-mail：c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 188,407 千円 (前年度予算額： 188,407 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	188,407	0	0	5,172	0	0	0	0	183,235
要求額	188,407	0	0	5,054	0	0	0	0	183,353
決定額	188,407	0	0	5,054	0	0	0	0	183,353

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

①経緯

平成15年9月に地方自治法の一部を改正する法律が施行され、公の施設の管理運営について、指定管理者制度が創設された。

養老公園についても、民間の経営ノウハウの活用による利用者サービスの向上と経費の節減を図るため、平成17年9月から指定管理者制度を導入している。

②現状

指定管理者：イビデングリーンテック株式会社

第1期 平成17年9月1日～平成22年3月31日（5年間）

第2期 平成22年4月1日～平成27年3月31日（5年間）

第3期 平成27年4月1日～令和4年3月31日（7年間）

第4期 令和4年4月1日～令和14年3月31日（10年間）

<指定期間を10年とした理由>

指定期間の延長により、指定管理者の公園への投資を促し、さらなる公園の活性化をはかるため。

③目的

指定管理者制度の導入により、最小のコストで最大のサービスが提供できるよう経費節減を図り、適切な県営公園の管理運営を行う。

(2) 事業内容

指定管理者制度の導入により、最小のコストで最大のサービスが提供できるよう経費節減を図り、適切な県営公園の管理運営を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・既定額 188,407千円

(4) 類似事業の有無

有 【類似事業】

- ・百年公園維持管理費（指定管理者分）
- ・各務原公園維持管理費（指定管理者分）
- ・世界淡水魚園維持管理費（指定管理者分）
- ・ぎふワールド・ローズガーデン維持管理費（指定管理者分）
- ・ぎふ清流里山公園維持管理費（指定管理者分）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	188,407	公園の管理運営業務にかかる指定管理料の支払い
合計	188,407	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・快適かつ安全な公園管理のため、継続的に費用の確保が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
引き続き都市公園の適正な管理運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R13)	達成率
①来園者数	124万人	122万人	131万人	135万人	136万人	96.3%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	コロナ禍ではあったが、きかんしゃトーマススタンプラリーなどwithコロナの対応をとることにより、入園者は令和元年度比1割減に留まった。
令和3年度	コロナ禍においても、インターネット・TV・新聞等を利用した積極的な広報を行った他、感染対策を講じた上で水遊びイベントやパフォーマンスショーを実施し、昨年度並みの入園者数を維持している。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	ウィズコロナ対応イベントや養老公園県営化100周年のプレイベントなど積極的な企画を行った他、キャンプ場運営（自主事業）により幅広い利用者層にアプローチした結果、前年度比でおよそ10万人の増加となった。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	<p>県民のレクリエーションの空間となるほか、都市景観の形成、都市環境の改善、豊かな地域づくりに資する交流の空間など多様な機能を提供するため、事業の必要性が高い</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	<p>都市公園の適正な管理を概ね期待どおり実施している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	<p>民間のノウハウを活用し、経費の節減を図りつつ、利用者サービスの向上に努めている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新・岐阜県都市公園活性化基本戦略に基づく取組みを推進
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民、運営協働会議、県営公園指定管理者評価員会議等の意見を公園の管理運営に反映させ、指定管理者とともに、利用しやすく、サービスが充実した都市公園となるよう引き続き取り組んでいく

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	